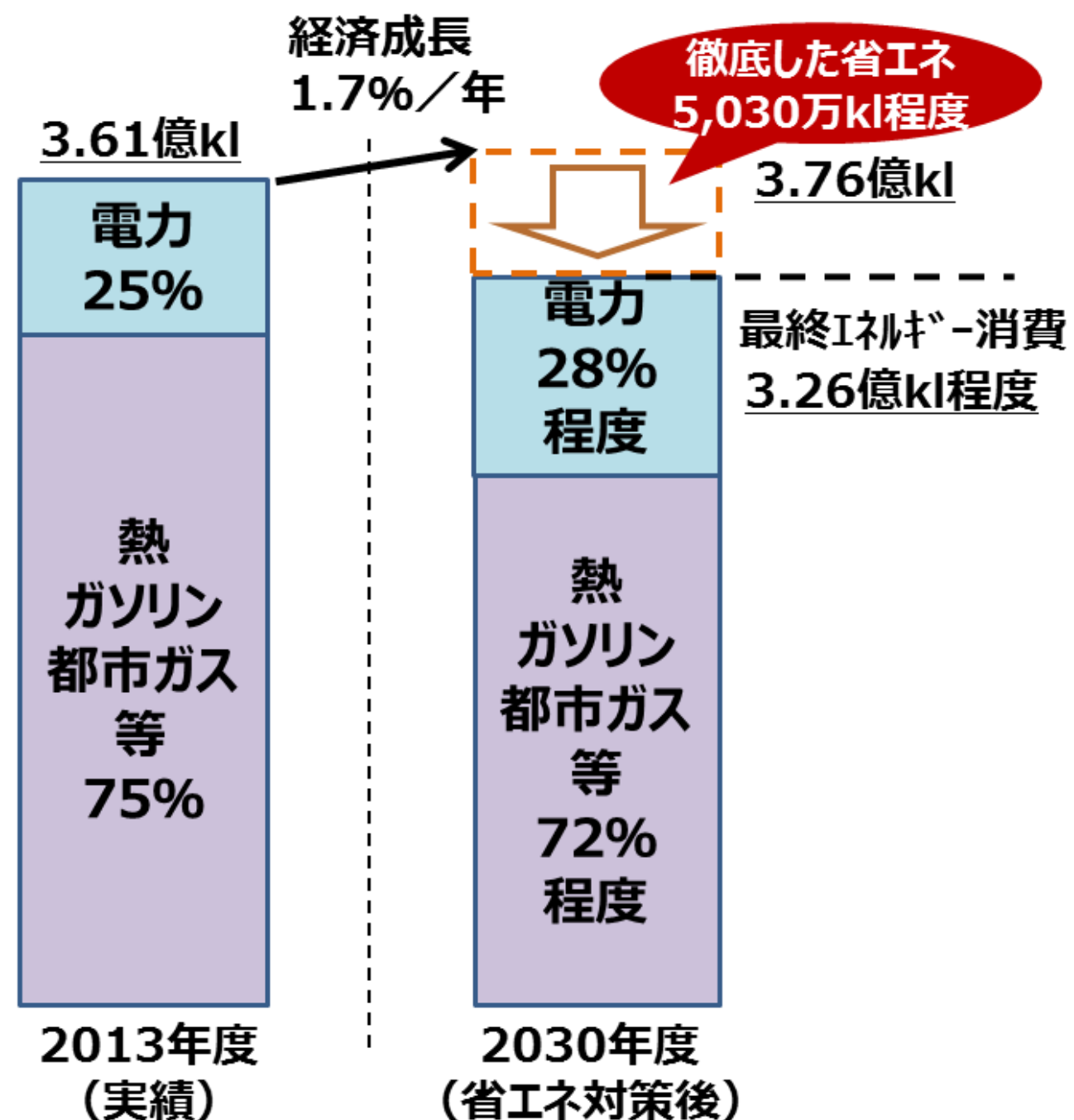


戦略的省エネルギー 技術革新プログラムの概要

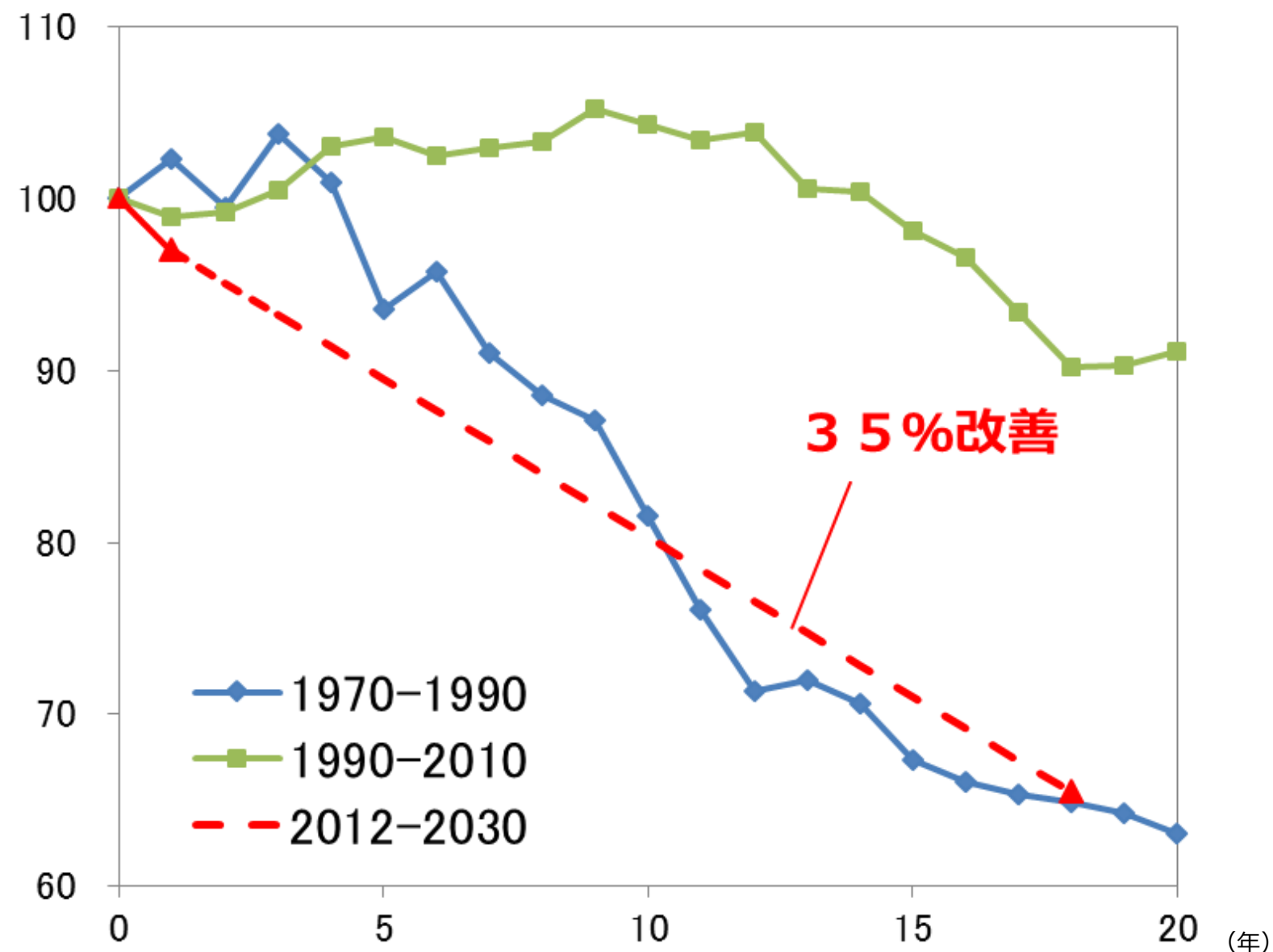


- 長期エネルギー需給見通しにおいて、2030年度に最終エネルギー消費を対策前比**5,030万kl**程度(原油換算)削減を目標
- 目標達成には、オイルショック後並みのエネルギー消費効率(最終エネルギー消費量／実質GDP)**35%の改善**が求められる

長期エネルギー需給見通しにおける最終エネルギー需要



エネルギー消費効率の改善



※縦軸は1970年、1990年、2012年のエネルギー消費効率を100とした場合の各年のエネルギー消費効率

エネルギー使用合理化技術
戦略的開発（2003～2010）

省エネルギー革新技术
開発事業（2009～2013）

戦略的省エネルギー技術革新
プログラム（2012～2021）



世界初のハイブリッド
ショベルを開発



小型貫流ボイラー
発電システム



E C Mセメント・コンクリートの開発



2 MW級高効率ガスエンジン



コンビナート低位熱
エネルギー統合回収技術



高性能・高機能
真空断熱材の開発



エジェクタ技術を用いたCO₂
ヒートポンプ給湯機の小型化

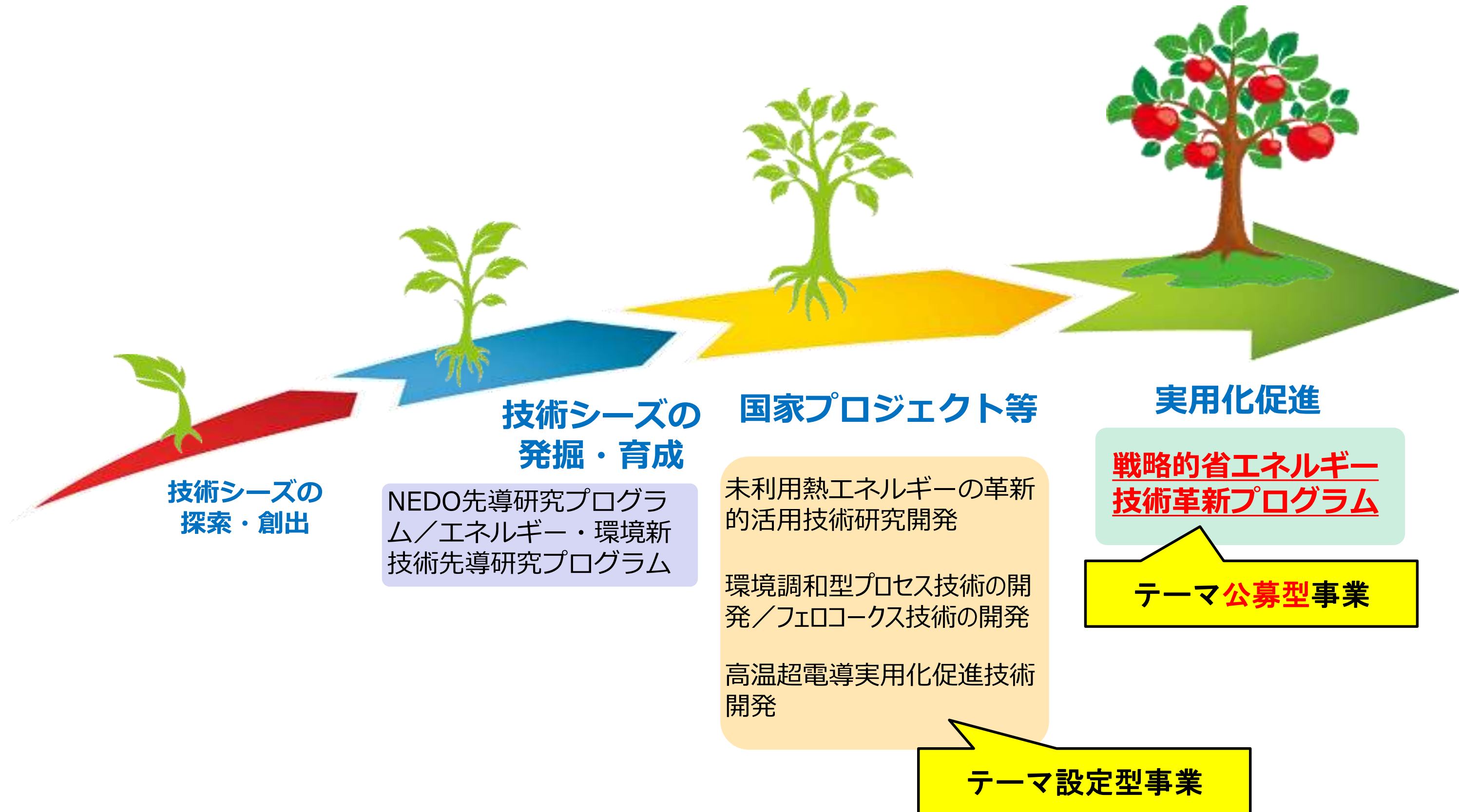


超高輝度・大光量LED照明



電車車両用インバータ

幅広い分野で省エネルギー
技術開発を今後も推進



「戦略省エネ」とは

現行の「省エネルギー技術戦略」で掲げる「重要技術」を中心に、
2030年に高い省エネルギー効果が見込まれる技術開発を支援することで、
省エネルギー型経済社会の構築・産業競争力の強化をめざすプログラムです。

制度概要

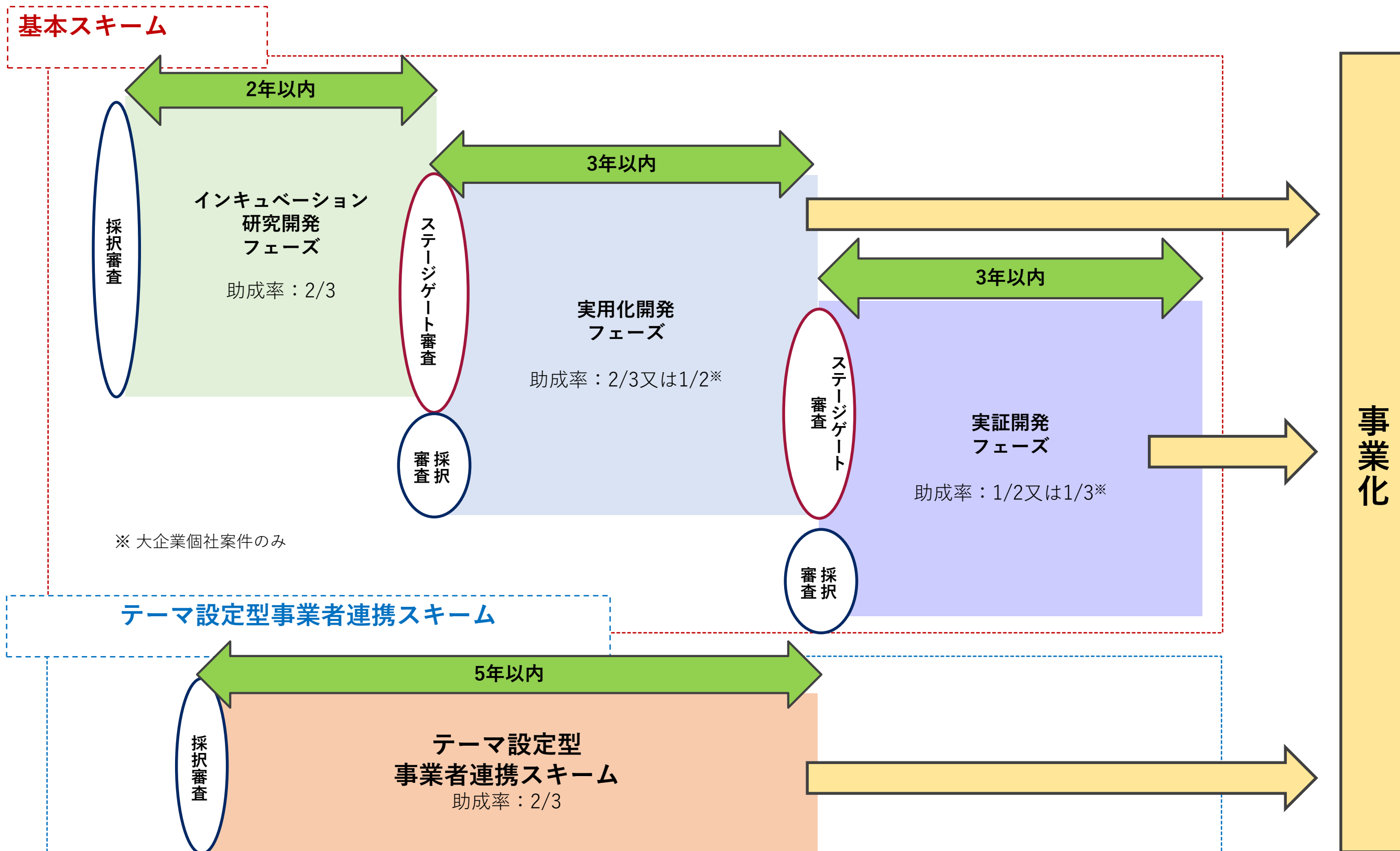
制度実施期間	2012年度～2022年度
事業種別	助成事業（ <u>技術開発費 = NEDO助成費（税抜） + 実施者負担</u> ）
対象技術	「重要技術」を中心とする、「省エネ法」に定められたエネルギー（燃料、熱、電気）の <u>国内消費量</u> を削減する技術開発
対象事業者	<u>日本国内に研究開発拠点を有している企業、大学等の法人</u> ※大学等の単独提案は不可
省エネルギー効果量	2030年時点において、 <u>日本国内で10万kL/年以上（原油換算）</u> ※基本スキームでは10万kLに満たない場合でも応募可能

重要技術

NEDOと経済産業省が定める「省エネルギー技術戦略」において描かれた2030年の日本の将来像実現のため、特に開発を推進すべき省エネルギー技術

省エネルギー技術戦略に掲げる重要技術





インキュベーション 研究開発		基本スキーム		テーマ設定型 事業者連携スキーム
		実用化開発	実証開発	
概要	技術シーズを活用し、 <u>開発・導入シナリオの策定等</u> を行う。実用化開発・実証開発の事前研究。	保有している技術・ノウハウ等をベースとした応用技術開発。 <u>本開発終了後3年以内に製品化</u> を目指す。	実証データを取得するなど、事業化を阻害している要因を克服し、 <u>本開発終了後、速やかに製品化</u> を目指す。	複数の事業者が連携し、 <u>業界共通課題等の解決に繋げる技術開発</u> 。本開発終了後3年以内に製品化を目指す。なお、 <u>対象テーマはあらかじめ設定し公募</u> する。
技術 開発費※1	2千万円／件・年 助成率：2/3	3億円／件・年 助成率：2/3又は1/2	10億円／件・年 助成率：1/2又は1/3	10億円／件・年 助成率：2/3
事業 期間	2年以内 当初交付期間※2 2年	3年以内 当初交付期間※2 2年	3年以内 当初交付期間※2 2年	5年以内 当初交付期間※2 3年
備考	実用化・実証との <u>組み合わせ必須</u>	<u>費用対効果の考え方を適用</u> 大企業個社案件※のみ、 <u>低い方の助成率を適用</u> ※大企業個社：提案者が大企業1社であり、連名提案者、委託先又は共同研究先がない状態		下記2点を満たすこと ・助成先に <u>2社以上の企業参画</u> ・ <u>成果の普及を促す組織・団体等の参画</u>

※1：消費税抜きの金額をNEDOが助成します。(消費税は事業者負担)

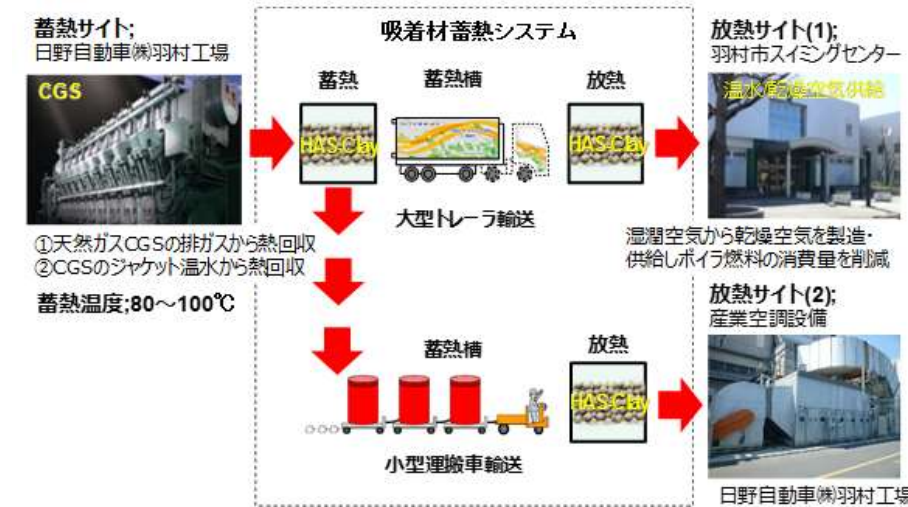
※2：基本スキームで3年事業、テーマ設定型事業者連携スキームで4年／5年事業を実施する場合、当初交付期間終了時に外部有識者による中間評価を実施し、継続可否を判断します。

■「低温廃熱利用を目的としたハスクレイ蓄熱材及び高密度蓄熱システムの開発」

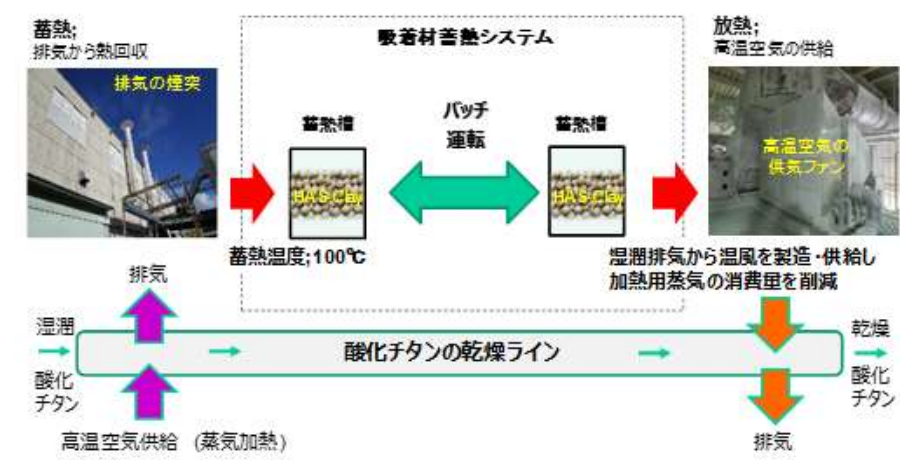
（高砂熱学工業（株）、石原産業（株）、東京電力エナジーパートナー（株）、森松工業（株）、日野自動車（株）、（国研）産業技術総合研究所、羽村市）

100℃以下の低温廃熱を利用可能な蓄熱システム
の本格実証試験を実施！

戦略省エネゾーン「S-14」にて実証試験の成果を展示
しています！！



オフライン熱輸送型の実証システム



定置型の実証システム

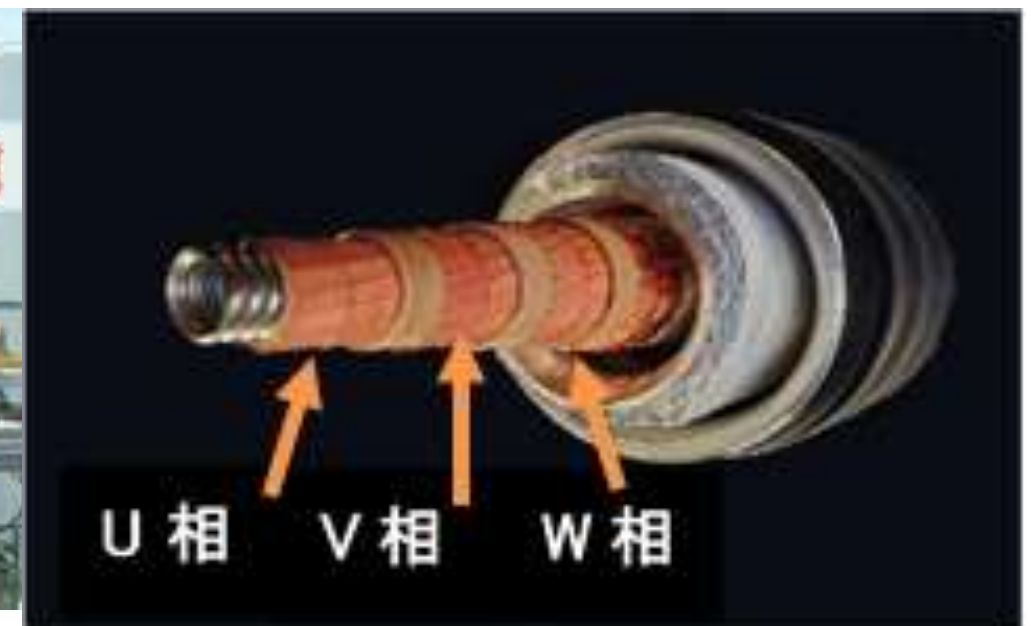
■「世界初、民間プラントに三相同軸超電導ケーブルを敷設」

（昭和電線ケーブルシステム株式会社、BASFジャパン株式会社）

石油コンビナートや各種工場の省エネ化に寄与する
実証試験を開始！！

11日（金）15時の展示ブース内セミナー

「高温超電導実用化促進技術開発プロジェクト紹介」内にてNEDOにおける超電導の取組として紹介！

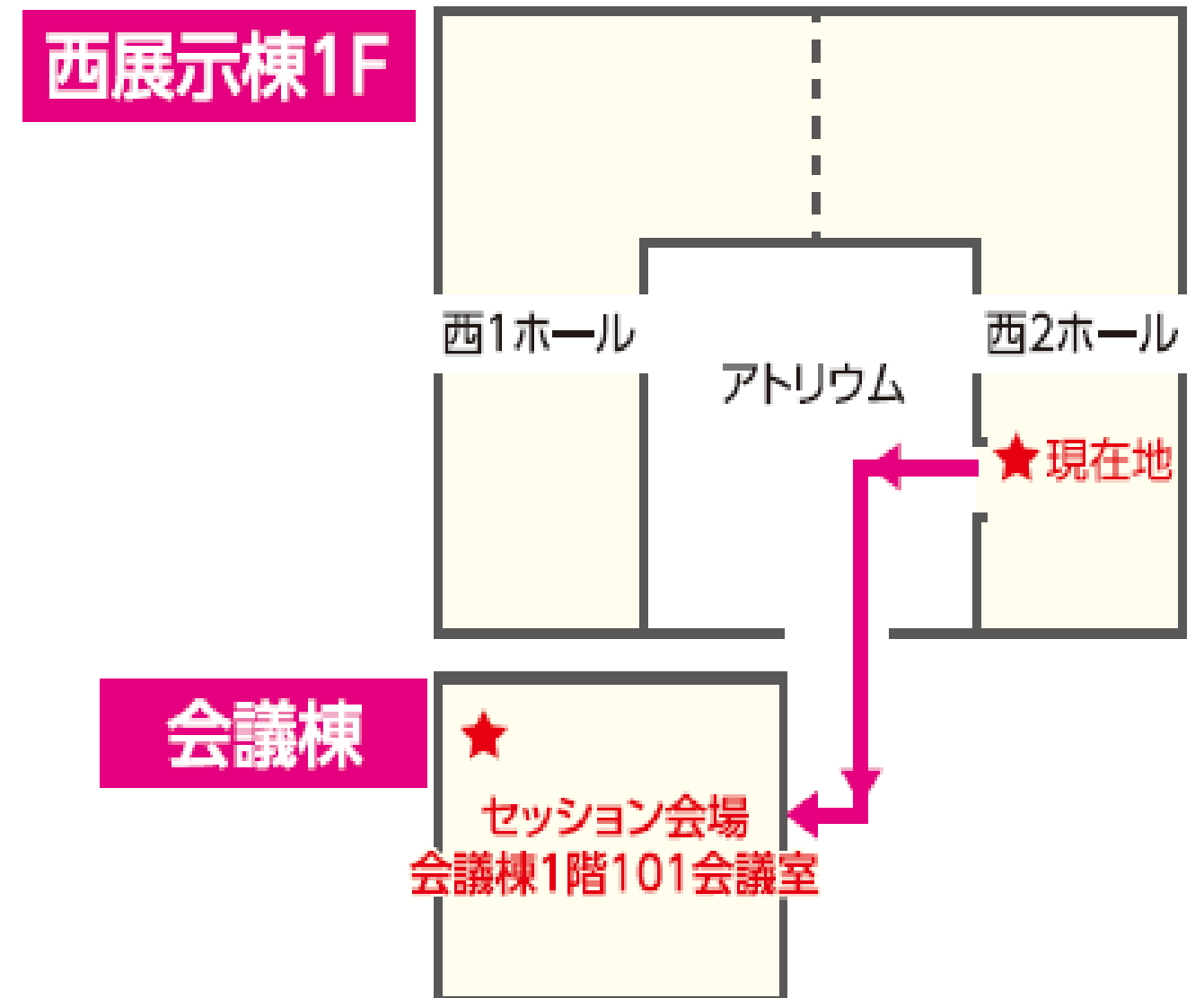


戦略省エネで実施している最先端の技術開発内容や課題を実施者から紹介します。

有識者から講演に対する質問やご助言を頂き、より社会ニーズを反映することで、技術開発終了後の成果の最大化を目指すことを目的としたセッションです。

セッション会場：会議棟 101 会議室

講演プログラム概要			
	2020/12/9（水）	2020/12/10（木）	2020/12/11（金）
技術分野	エンジン関連 物流関連 ZEB／ZEH関連	化学産業関連 製造プロセス・加工 技術関連	自動車関連 ディスプレイ関連



●個別の省エネルギー技術開発テーマをお持ちの方の、**応募のご相談**をお待ちしております。

お問い合わせ先：shouene@nedo.go.jp